

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年 4月 6日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 5 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	66kV開閉所 作業用分電盤(東)において、66kV開閉所用コンセント用漏電しゃ断器の動作不良が認められたため、当該漏電しゃ断器を交換・修理。 なお、当該漏電しゃ断器は切位置としたが、他に使用可能なコンセントがあることから、66kV開閉所内の作業に影響はない。	GⅢ	3月30日
2	1号機	66kV岩井戸線(1号)後備保護装置の距離継電器において、基板不良が認められたため、当該基板を交換・修理。 また、66kV岩井戸線(1号)に落雷などがあつたとき、再閉路回路が動作せず66kV岩井戸線(1号)に連結されている再生エネルギー事業者の設備に影響を及ぼす恐れを考慮し、66kV岩井戸線(1号)を停止。 なお、4月6日に基板の交換を行い66kV岩井戸線(1号)を復旧。	GⅢ	3月31日
3	1号機	コントロール建屋常用照明分電盤(LP-1C32)において、回路No. 27(トランスヤード屋外照明)の漏電しゃ断器の動作不良が認められたため、当該漏電しゃ断器を交換・修理。 なお、当該漏電しゃ断器は切位置としたことにより変圧器廻りの照明は点灯しない状態となっているが、夜間に巡視する設備とはなっていないため、設備の監視に影響はない。 また、夜間や暗所をパトロールするときに備え、所員のヘルメットはヘッドライトを装着しており、安全面に影響はない。	GⅢ	3月31日
4	1号機	換気空調系タービン建屋給気出口ダクト風量調節用ダンパーにおいて、風量調節用ダンパーを動作させるリンク機構部からのボルト脱落が認められたため、当該リンク機構部を交換・修理。 なお、当該ダンパーはリンク機構部からのボルト脱落により開閉動作を繰り返す状態となっているが、タービン建屋の給気ファンと排気ファンの運転に影響はない。 また、リンク機構部の交換修理には原子炉建屋とタービン建屋の換気空調系を全て停止する必要があることから、原子炉建屋6階ブローアウトパネルの修理の後にリンク機構部の交換・修理を行う。	GⅢ	4月4日
5	1・2号廃棄物処理設備	補助ボイラー温水供給ポンプ用電動機において、負荷側ハウジング内径の嵌め合いが管理値(-0.006~0.034mm以内)に対し0.037mmと管理値の逸脱が認められたため、負荷側ハウジングを点検・修理。	GⅢ	4月5日